Green For All
KAWASAKI 2024

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

G5テーマ「緑×コミュニティ」

グリーンハックプロジェクト

～地域のみんなが主体となり緑を通じて繋がる～

解決したい課題

『街』という目線

地域内でも属性・世代を超えた「繋がる機会」が少ない

『緑』という目線

関心がある人以外、緑に興味をもつきっかけが限られている

実現したいビジョン・ゴール

ハック = ちょっとしたアイディア、コツ

地域の多様な主体が

“ハック”を仕掛けることによって

「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」

川崎のまちを共創していく

二つのハック（アイデア）でアプローチ

グロウ
ガーデン
（育てる）

×

トラック
ガーデン
（広げる）

川崎の人や魅力に焦点をあて
人同士の繋がりを醸成し、緑に興味をもってもらう

ハック①　グロウガーデン（育てる）

❖ みどりを植えて育てて活用する、多彩なみどりを楽しむためのガーデン

❖ 日々の水やりやお手入れからイベント・ワークショップまで、
幅広く緑との関わり方を仕掛けていく

❖ 様々な主体の取り組みを巻き込み、積極的に新しいチャレンジを応援
同時に多様な魅力・文化・技術の伝承

コンテンツ（例）

- ➢ 緑や環境をテーマとする実証実験
- ➢ シェア菜園・実りフェンス
- ➢ 地元野菜を味わう体験: かわさき育ち試食会、
  芋煮会や青空キッチン
- ➢ コンポストの普及推進スポット
- ➢ ステージやイベント広場

**緑や土に触れる機会を作るだけでなく、
様々な「挑戦（チャレンジ）」を実施する場所にしていく**

グロウガーデンイメージ（例）

ハック②　トラックガーデン（広げる）

❖ 川崎の緑を運ぶ移動式のトラックガーデン

❖ 公園や学校、河川敷など様々な場所を回遊し、拠点を超えて
より多くの人にコンテンツを届ける

❖ グロウガーデンの緑の一部としても展示

コンテンツ（例）

- ➢ 体験会やワークショップなどの企画
- ➢ 農家・植木屋さんの植物を展示
  →出張販売所として活用していただき、
  地場産業の活性化に繋げるということも
- ➢ 造園業者によるモデルガーデンの展示

川崎市内の様々な緑の資源を交換し
より広く「知ってもらう」機会にする

実現に必要な「ヒト」：組織図と協力者

グリーンハックプロジェクト
実行委員会

お花の祭典・花壇部門
統括
〇〇株式会社
〇〇団体　等

体験・学習部門
統括
〇〇株式会社
〇〇団体　等

ICT部門
統括
〇〇株式会社
〇〇団体　等

健康・スポーツ部門
統括
〇〇株式会社
〇〇団体　等

脱炭素部門
統括
〇〇株式会社
〇〇団体　等

食べる・育てる体験部門
（フードスケープ）
統括
Green Neighbors合同会社
一般社団法人 大師ONE博

やること

- 各地域との調整、トラブル対応、イベント企画、実行、物品調達、予算決め
- 各団体との調整、ボランティアへの募集、教育指導、スケジュール調整、リーダーの育成
- 現地ボランティアのアサイン、全体スケジュール調整、報告関係、関連企業との調整

委員会の強み

- 公共スペースにてビジネス視点で運営を実施
- ハード面からソフト面（コンテンツ）までの全体デザインと運営ディレクション
- 緑に対する高いリテラシー
- ICTの積極的な活用

実行委員会を民間企業や団体から組成し
様々な視点・経験則から協議し実行していく

実現に必要な「モノ」：資材など

- トラック
- プランター
- 土
- 植物苗（花・野菜・果樹）

…

なるべく企業のロス製品や端材を活用することによって
サステナブルを目指す

実現に必要な「カネ」：資金源

1.川崎市からの補助金

2.企業からのスポンサー・一般寄付

3.収益事業：

菜園のレンタル利用料 / キッチンカーのテナント料など

収益事業を運営することにより、一部資金源を自前で捻出する仕組み

グリーンハックによって期待する効果

目指す状態

信頼できる地域ネットワークの構築

- 多世代・多様なバックグラウンドの人たち同士で関係性が醸成
- 子供・若者の居場所がある

緑のジブンゴト化

- 自分で植えた・育てた・使ってみたを誰もが経験
- 川崎の緑に対しての理解が促進され、誇りをもっている

地域の多様な人々を巻き込むことにより
「住み続けたい街」を市民“自ら”作っていけるように

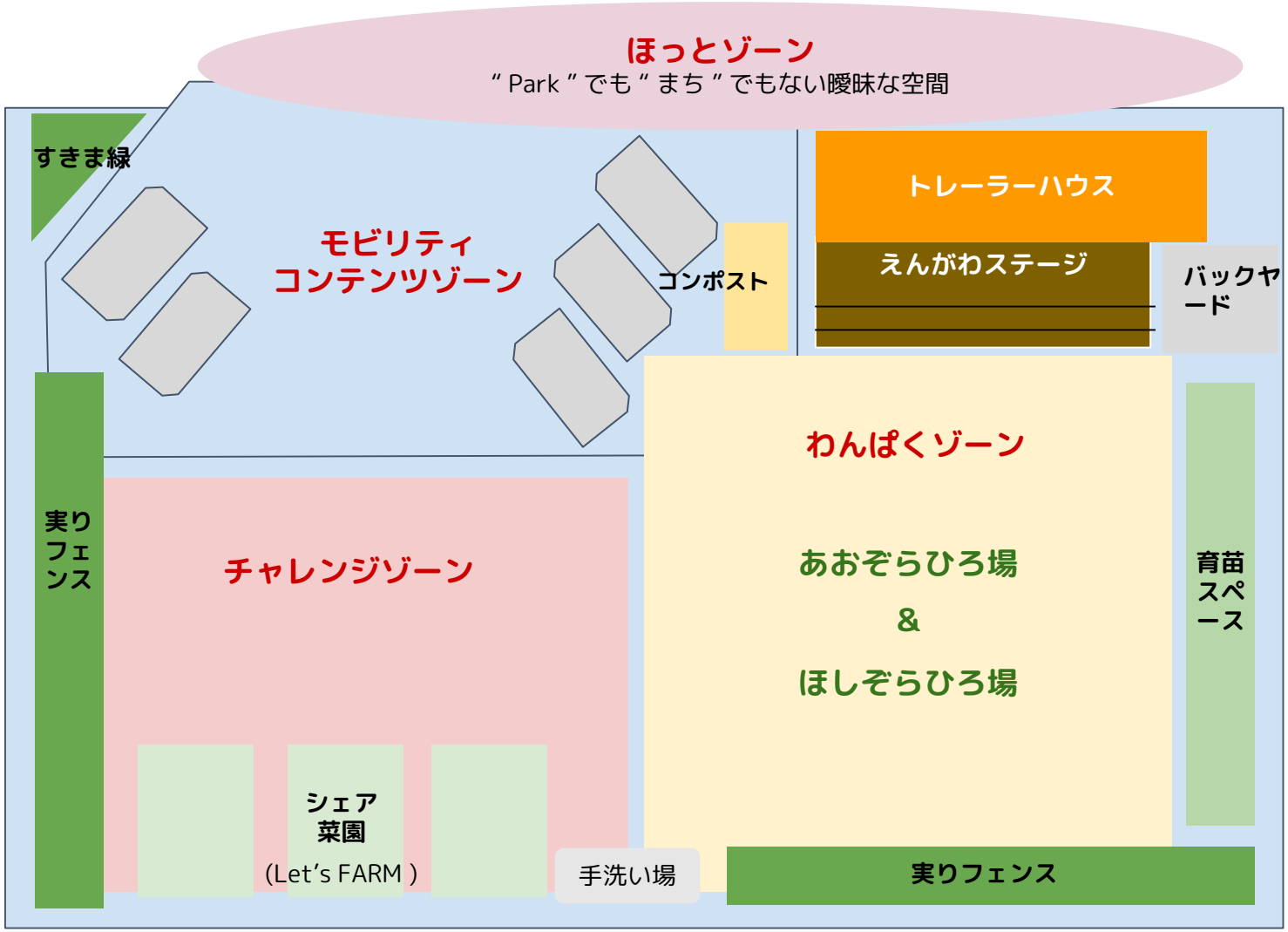
COLORS, FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th

未来に発信する川崎を

一緒に作っていきましょう！

補足（別紙）

グロウガーデンイメージ（例）



※ 2,000平米の土地を想定しております

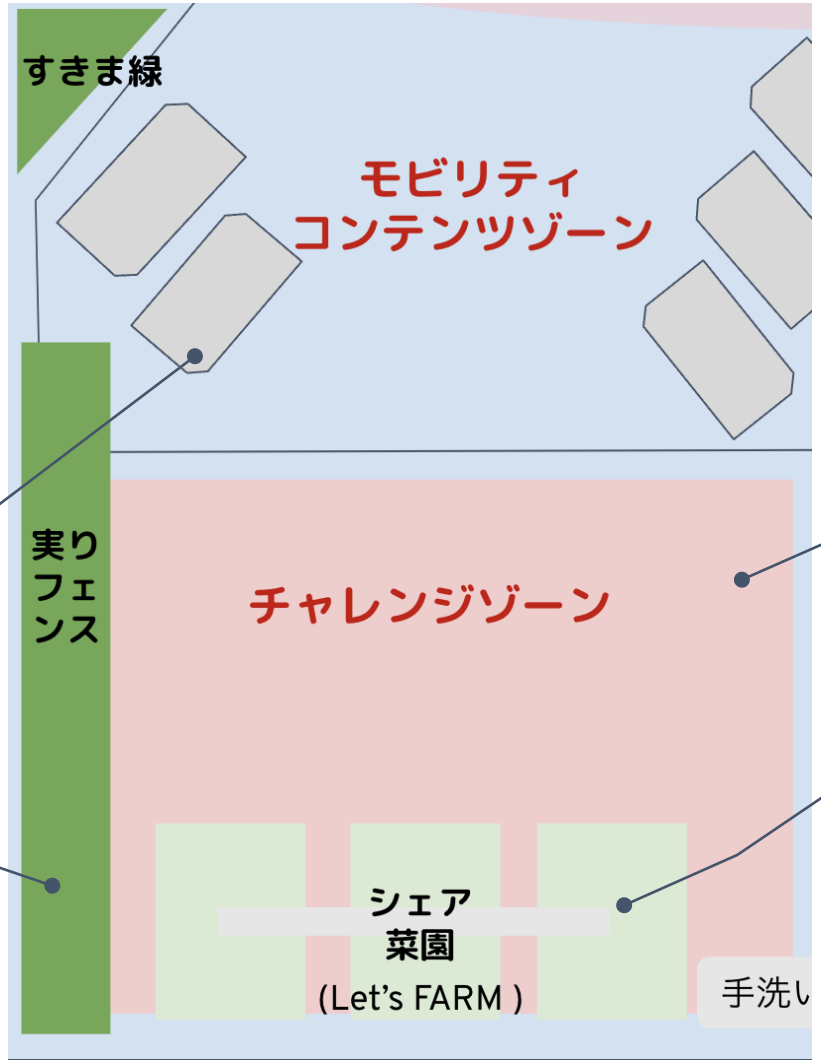
※ 実施場所に応じて、記載の要素（ゾーン）を取り入れられたらと考えております

モビリティコンテンツ

- トラックガーデンの常設
- キッチンカーも本ゾーンに配備
- 他拠点から移動した（モビリティ）コンテンツとして造園会社の創作ガーデンなども
- 一部展示や出店料金を徴収し、収益事業とすることも検討

実りフェンス

- ワイヤーフェンスに蔓性の植物（ゴーヤ・きゅうり・朝顔など）をはわせて実るものに
- 文化交流もかねて、姉妹都市の植物も活用（リエカ市、瀋陽市、ウーロンゴン市など）
- 剪定や日常手入れをみんなで実施しながら、季節ごとの変化を楽しむ



チャレンジゾーン

- まちの中でやってみたい！という子供たちの挑戦から、スタートアップの実証実験まで
- チャレンジする人たちを応援するゾーン

シェア菜園

- 自宅で十分スペースを確保できない人たちが自由に菜園を楽しむ会員制のスペース
- 月に一度、会員同士で交流したり情報を交換
- 会費制などで運営費を補填
- トレファームなどの仕組みを検討

トレーラーハウス

- 事務所、キッチン、授乳スペースなどとして活用できるトレーラーハウス

コンポスト

- コンポストの普及促進を目的に、コンポストのミニレクチャー定期的に開催

あおぞらひろ場&ほしぞらひろ場

- 昼間はあおぞらひろ場として、裸足でも遊べることをコンセプトにした空間。子供向けのワークショップや、地域を盛り上げる作戦会議を展開
- 夜はほしぞらひろ場として、ゆっくりとおしゃべりを楽しむ大人の空間に。カクテルにミントを添えるなど、気軽なFarm to Tableを体験

ほっとゾーン

- 街とガーデンの境界となるセットバック
- ベンチなどを配備することによって、入りやすい雰囲気に

えんがわステージ

- ライブパフォーマンスなど、催し物を開催する中心としてステージを設置

育苗スペース

- 種から育てる、挿し木で増やすなど、植物の小さい命を育くむ場所
- 育てたものを街中へ広げていく仕掛けをつくる（例：学校や病院などへと緑を拡散する）

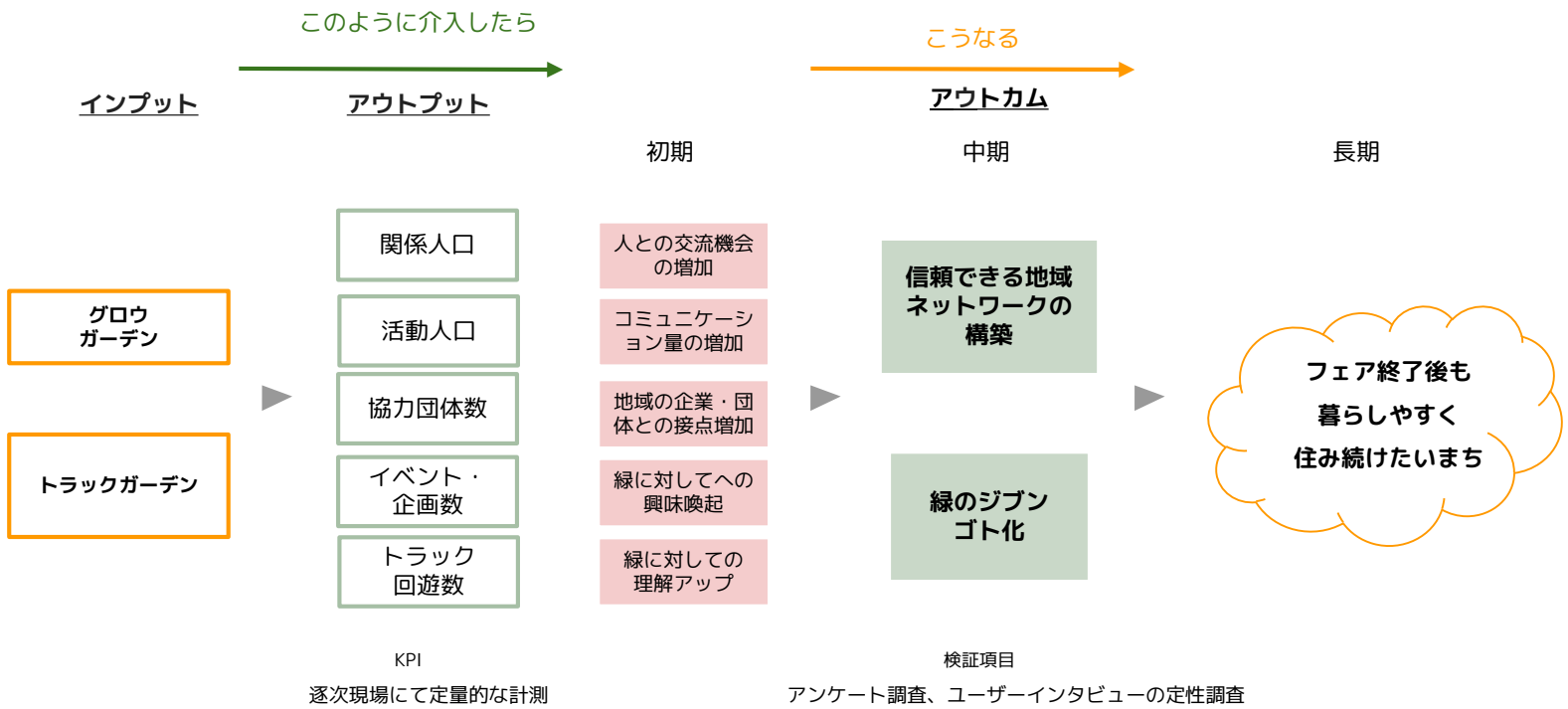
収支計画のイメージ（例）

支出見込み	収入見込み
施設設備費 ● 軽トラック ● ステージ ● 用土、肥料、苗 ● 簡易トイレ ● 設置費… 約500万	● **川崎市の支援**（5割程度） ● **企業スポンサー・一般寄付**（4割程度） ● **収益事業（**1割程度） > 菜園のレンタル利用料金：月額料金、クラウドファンド式 > キッチンカー等のテナント料：売上の%、固定賃料 > 広告料など
運営費 ● PM人件費 ● 水光熱費 ● 用土、肥料、苗 … 約1,500万	

※ 場所・詳細コンテンツに応じて要検討（行政所有地を優先的に検討）
※ 内訳概算（参考）：https://docs.google.com/spreadsheets/d/1qviJAkxivQ94jjH2SyfDIJNtfQR05jn-9fbMRpfREzk/edit?usp=sharing

収益事業を拡大していくことにより、持続的な運営を目指していく

ロジックツリー：成果指標（例）



定量・定性調査による効果検証を行いながら、長期目標に繋がる施作を改善していく